

授 業 科 目	装具学V		
教 育 内 容	専門分野	応用義肢装具学	
担 当 教 員	星野元訓、丸山貴之、中村喜彦、野原耕平、小濱友恵		
学 年	3	単 位 数	3
開 講 時 期	前期 (月曜日 I - IV限)	時 間 数	講義 30 時間 演習 90 時間

■ 授業概要

本科目は、「靴型装具」「側弯症用装具」「座位保持装置」の3プロジェクトより構成され、それぞれの補装具の疾患に対する適合理論、製作技術を習得する。

<靴型装具>

第1回-28回において開講する。本プロジェクトでは、靴型装具の製靴工程についての技術を習得し、疾患に応じた製靴方法も理解する。2年次の装具学Ⅲにおける靴型装具の学習内容を理解していることを前提に講義・実習を進める。

製甲のデザインから縫製そして底付まで、疾患を理解しそのうえで靴型装具のデザイン・製作を行えるよう技術を習得する。

<側弯症用装具>

第29回-44回において開講する。側弯症、および装具療法について学習する。健常学生をモデルに2種類(ミルウォーキー型、ボストン型)の側弯症用装具の採型から適合を通して、側弯症用装具における矯正理論や製作方法を習得する。併せて様々な種類の側弯症用装具の種類と特徴を習得する。

<座位保持装置>

第45回-60回において開講する。シーティングにおける座位姿勢保持に関する理論、および座位保持装置の種類、各種類の構成要素や疾患に応じた適応について学習する。また、採寸・採型によるモールド型クッションの製作技術を習得する。

■ 到達目標

<靴型装具>

- 1) 靴型装具の製靴工程について理解し実践できる。
- 2) 靴型装具を必要とする疾患、障害に適応した製靴法について理解する。

<側弯症用装具>

- 1) 側弯症の疾患上の特徴、および側弯用装具による装具療法の理論を理解する。
- 2) 側弯症用装具の製作・適合技術を理解する。

<座位保持装置>

- 1) 関連疾患や高齢者における座位の問題点に対するシーティングについて理解する。
- 2) 座位保持装置の種類、適応、適合方法を理解する。
- 3) モールド型の製作方法を理解し、実践できる。

■ 授業内容

	内容	担当教員
第1-4回	【講義】オリエンテーション、「靴型装具の製靴工程」(第1-2回) 【実習】靴型修正	丸山貴之 野原耕平
第5-8回	【実習】フットベッド補強、アッパーデザイン・パターンデザイン	

第 9-12 回	靴型装具	【講義】「靴のパターンデザイン法」(第 11-12 回) 【実習】パターンデザイン、型紙作成	丸山貴之 野原耕平
第 13-16 回		【実習】アッパー製作 (皮革切り出し、端面処理) 部品作成	
第 17-20 回		【実習】アッパー製作 (縫製)、つり込み	
第 21-24 回		【実習】つり込み、細革、シャンク取付け	
第 25-28 回		【実習】底付け、仕上げ、評価 【講義】「靴型装具の適合」(第 26 回) 「糖尿病足病変と靴型装具」(第 28 回)	
第 29-32 回	側 弯 症 用 装 具	【講義】「側弯症と装具療法」(第 29-30 回) 【実習】側弯症用装具採型、陽性モデル製作	星野元訓 中村喜彦 小濱友恵
第 33-36 回		【講義】陽性モデル修正方法 (第 33 回) 【実習】陽性モデル修正	星野元訓 中村喜彦
第 37-40 回		【実習】側弯症用装具成形・組立	
第 41-44 回		【講義】「側弯症用装具における適合」(第 41-42 回) 【実習】側弯症用装具適合チェック、および修正	星野元訓 中村喜彦 小濱友恵
第 45-48 回	座 位 保 持 装 置	【講義】「座位保持装置概論」(第 45-46 回) 【実習】採型器を用いた骨盤・大腿部の採型	星野元訓 小濱友恵
第 49-52 回		【実習】採寸によるモールド型クッションの製作	
第 53-56 回		【実習】採型モデルによるモールド型クッション (座) の製作	
第 57-60 回		【実習】採型モデルによるモールド型クッション (背) の製作 【講義】座位保持装置のまとめ (第 59-60 回)	

■ 評価方法

3つの各プロジェクトの総合評価とし、評価配分は次の通りとする。

靴型装具 40%、側弯用装具 30%、座位保持装置 30%

それぞれのプロジェクトの評価配分は次の通りとする。

<靴型装具>

最終試験 50%、実習 50%

<側弯用装具>

最終試験 80%、実習 20%

<座位保持装置>

最終試験 60%、実習 40%

■ 教科書

装具学 第4版、医歯薬出版

義肢装具のチェックポイント 第9版、医学書院

新編 装具治療マニュアル、医歯薬出版

■ 留意事項

最終試験は各プロジェクト別に実施するが、日程は別途指示する。

■ 備考

< 講師の実務経験 >

星野元訓：当センター病院のシーティングクリニックに 18 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 21 年間勤務。

丸山貴之：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 14 年間勤務。

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 5 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 14 年間勤務。

野原耕平：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に 7 年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として 8 年間勤務。